

第二次世界大戦前の米国カリフォルニア、ロサンゼルスにおける  
日本人移民女性の近代性の検証

藤坂 恭子

(京都大学大学院文学研究科グローバル COE 研究員)

2012 年 1 月



京都大学グローバル COE

「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」

Global COE for Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in 21st Century Asia

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科

Email: [intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp](mailto:intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp) URL: <http://www.gcoe-intimacy.jp/>

## アブストラクト

本稿は、米国ロサンゼルス日本人移民女性の近代性を、近代家族の枠組みで捉えるものである。事例として1921年から1930年の間に、米国ロサンゼルス郡に日本人移民女性が提出した離婚訴訟の事例を検証することにより、彼女らが規範とした米国の近代家族の要素を明らかにするものである。本稿ではまた、日本人移民社会は日本人移民女性の離婚訴訟をどのように捉えていたのかを訴訟事例と日本語新聞の記事とを比較しながら考察する。

キーワード：日本人移民、女性、離婚、近代家族、ロサンゼルス

2010 年度次世代研究「第二次世界大戦前の米国カリフォルニア、ロサンゼルスにおける日本人移民女性の近代性の検証」（研究代表：藤坂恭子）による成果である。

【メンバー】（ ）内は 2010 年度プロジェクト時点

藤坂 恭子（京都大学大学院人間・環境学研究科 研修員）